



# ラッキーナスビ2.5



将来への準備を進めるために鍛えたい4つの力



やり抜く力  
GRIT



先を見通す力  
PLANNING



ふりかえる力  
REFLECTION



役立てる力  
TRANSFER



## 照らそう! 私たちの人権

本校には「宮崎大学教育学部附属中学校生徒会人権宣言」があります。平成30年度のPTCC討論会での話し合いを経て制定されました。私たちは、この人権宣言を実現することを通して、すべての生徒が安心して学校生活を送れるようにしていくことが必要です。

5月9日(木)には、“illuminate of Human Rights”が行われました。これは、ファミリー(異学年)グループでの話し合いを通して、人権について積極的に考えようとする(人権を照らそうとする)取組であり、年3回(5月・11月・2月)行われます。

今回は、「人権宣言を実現していくためには、日ごろからどんな行動をしていくことが必要だろうか?」という問いについて考えました。この活動を担当する議長団は、当日の様子について、次のようにまとめています。1つ1つの活動を大切にしながら、1人1人の人権意識が高まるようにしていきたいものです。

3年生がリーダーとなり、アイスブレイクで盛り上げようとしていたり、パターン・ランゲージの作り方を教えたりする姿が見られました。そして、その3年生についていき、習おうとする1・2年生の姿も見られました。

この姿は、体育大会や橘祭などに活かすことができます。まずは3年生がお手本となり、2年生が習い、1年生がついていくという縦のつながりである“ファミリー”があるからこそできることを大切にする中で、学校が上手く回っていくのではないのでしょうか。今回の活動で見られた姿を、これから行われる行事に生かしていきましょう。そして、他の学年から得た学びを後輩たちに引き継いでいきましょう。これからも全校生徒でこの学校をより良くしていきましょう。



▲ 各グループでは3年生がリーダーを務めました。どのグループもアイスブレイクで緊張がほぐれ、活発に意見交換する様子が見られました。3年生のみなさん、ありがとうございます。



## 体育大会でも照らそう! 宮附版オリンピズム

いよいよ体育大会が迫ってきました。今年度の体育大会は<オリンピズム>にもとづいて企画・運営されています。<オリンピズム>とは、スポーツの祭典であるオリンピック・パラリンピックを根底から支える考え方のことです。

体育大会実行委員会は、この考えにもとづき、<宮附版オリンピズム憲章>を定めています。

全ての生徒は、体育大会で行われる全ての競技において、互いを尊重しあうフェアプレイの精神を大切に、正々堂々と戦う。

お互いを尊重しあうフェアプレイの精神は、お互いを大切に、そして、お互いの人権を大切にするところから生まれてくるものではないでしょうか。

先ほど紹介した“illuminate of Human Rights”はもちろん、体育大会を通して、人権を照らそうすることができます。5月17日(金)には、ファミリー(異学年)グループで、「我等がファミリーの強みは何だろうか?」という問いについて考えました。このような話し合い活動を日常的に行うことも、人権意識を高めていくことにつながっていくのだらうと思います。

<宮附版オリンピズム>を体現した体育大会を、ぜひごらんください。